CompassXportの使い方

- 0. CompassXportをインストールする(CompassXport_SFX_3-0-4.exe)。
- Cドライブの直下にdataの入ったフォルダを置く(フォルダ名は以下の条件を満たせば良い)。
 *注意 フォルダ名は英語ソフトなので2bite(日本語)はNG。半角英数のみ。スペースは 気を付ける。



2. fidファイルのあるフォルダまで階層を辿り、アドレスをコピーする。



 「ファイル名を指定して実行」から コマンドプロンプト(cmd)を立ち上げる。

ファイル名を指定して実行				
-	実行するプログラム名、または間くフォルダやドキュメント名、イン ターネット リソース名を入力してください。			
名前(<u>0</u>):	cmd			
	OK キャンセル 参照(<u>B</u>)			

 4. cd (*注意 cdの後はスペース)と入力し、C:¥WINDOWS・・・cmd.exeの 左のアイコンから「編集」⇒「貼り付け」によって、2でコピーしたアドレスを入力し、 Enter (Return)で実行

アイコン	2:0	C:¥WINDOWS¥system32¥cmd.exe		
	8	元のサイズに戻す(<u>R</u>) 移動(<u>M</u>) サイズ変更(<u>S</u>)	P [Version 5.1.2600] 2001 Microsoft Corp.	
	-	最小化(<u>N</u>) 最大化(<u>X</u>)	ttings¥ >cd ttings¥	
	×	閉しる(<u>C</u>)	<u>ltings¥ >c</u> d	
		編集(E) ・ 既定値(D) プロパティ(P)	範囲指定(ビ) コピー(Y) Enter 貼り付(f(P) すべて選択(<u>S</u>) スクロール(L) 検索(F)	

- 5. dirにて場所を確認する。 *行わなくてもよい。
- 「compassxport -a fid -raw 1」と入力し、Enter (Return)で実行。
 *注意!! それぞれスペースが必須。1文字、1スペース間違えるだけでNG。



7. fidファイルと同じ場所にmzXML形式のファイルができたことを確認する。



8. 得られたmzXML形式のファイルはmMassでこのように開くことが可能。



以降の操作はmMassのマニュアルを参照。
 *mMassでpeak pickも可能です。